



## ベネディクト・アンダーソン 『三つの旗のもとに—アナーキズムと反植民主義的想像力』

岡田泰平

ベネディクト・アンダーソンは、もはや古典となった『想像の共同体』の著者である。本書は、この古典で示された思想の先に何があるのかを明らかにしている。帝国に抗する運動として世界史に登場したナショナリズムが、実のところ、アナーキズムと同じ根を持っているという。アナーキズムの「行動によるプロパガンダ」という方法は、一方では社会における不正を殺傷により正すというテロに結びつき、他方では「行動」を促す「プロパガンダ」としての小説に帰結する。行動様式を提唱しつつも、確固たる主義を持たないアナーキズムは、綱領ではなく翻訳を介して拡がり、党組織ではなく個人によって実践される。アジアとヨーロッパを行き来した三人のフィリピン人の足跡を丹念に追うことによって、19世紀末のアナーキズムの展開を分厚く描き出している。本書は、ナショナリズムを越えた個人の連帯と思想の繋がりを綿密に示した一つの問題提起である。その余白は大きく、21世紀のグローバリズムにおいて、ナショナリズムを越えるとは何を意味するのかを、私たちに問いかけている。



## 出典:

- ベネディクト・アンダーソン著、『三つの旗のもとに—アナーキズムと反植民地主義的想像力』（邦訳：山本信人、N T T 出版、2012年）
- Benedict Anderson, *Under Three Flags: Anarchism and the Anti-colonial Imagination* (London: Verso, 2005).

## 関連リンク

- [http://self.gutenberg.org/articles/eng/File:Filipino Ilustrados Jose Rizal Marcelo del Pilar Mariano Ponce.jpg](http://self.gutenberg.org/articles/eng/File:Filipino_Ilustrados_Jose_Rizal_Marcelo_del_Pilar_Mariano_Ponce.jpg)
- <https://www.marxists.org/subject/anarchism/index.htm>
- <https://www.loc.gov/rr/hispanic/1898/rizal.html>